

第3節 発展を支える交通ネットワークの充実

1 広域道路ネットワークの構築

●東九州自動車道・大分空港道路

東九州自動車道は平成31年度より「宇佐IC～院内IC」間及び臼杵IC付近において、令和3年度から「大分宮河内IC～臼杵IC」間が4車線化事業に着手されました。引き続き、事業化区間の整備促進及び全線4車線化を目指し、国等への要望活動を行います。

●中九州横断道路

現在、竹田阿蘇道路は測量設計を進めており、加えて、令和3年度から県内残りの未事業化区間である「大分～犬飼」間において、計画段階評価のための調査が着手されました。引き続き、早期開通を目指し、国へ要望活動を行います。

●中津日田道路

令和3年2月に耶馬溪道路が供用を開始しました。また、令和3年度より耶馬溪山国道路が新規事業化されました。現在、約27kmの区間（三光本耶馬溪道路（直轄権限代行）、耶馬溪山国道路、日田山国道路）で整備を推進しています。令和3年度は用地買収を促進させるとともに、改良工事を実施し各工区ともに早期の供用開始を目指します。



東九州道「宇佐～院内」間
4車線化の着工式



耶馬溪道路 下郷交差点付近

【目標指標】

指 標	基準値		R2年度			R6年度
	年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値
大分市中心部まで概ね60分で到達できる地域の割合	H26	73%	76%	76%	100%	78%
九州の東の玄関口としての拠点化主要施設まで概ね30分で到達できる地域の割合	H26	—	52%	52%	100%	54%
地域高規格道路整備延長	H26	67km	82km	82km	100%	100km

【指標による評価】

評価	理 由 等
達成	国道212号(響峠バイパス)などの開通などにより、目標を達成している。
達成	中津日田道路耶馬溪道路区間が開通し、目標を達成している。
達成	中津日田道路耶馬溪道路区間が開通し、目標を達成している。

2 地域道路ネットワークの充実

●地域ネットワークの整備

- ・幹線道路は、渋滞や交通安全上の課題の多い箇所、インターチェンジへのアクセス道路等の整備を進め、物流効率化や産業の発展、生活利便性の向上に寄与しています。また、合併新市中心と旧市町村中心を結ぶ道路等で、未改良で残された区間や港湾とインターチェンジを結ぶ道路等の整備を進めています。令和2年度は国道217号平岩松崎バイパスなどの開通により、地域道路ネットワークの充実を図りました。
- ・異常気象時等においても地域間のネットワークを確保するため啓開ルート上ののり面崩壊対策を令和2年度は国道212号など7路線12箇所で実施しました。



国道217号 平岩松崎BP (臼杵市)



国道212号 (中津市)

●中山間地域等の生活道路

- ・既設の道路敷を利用した路肩拡幅や側溝整備等の局所改善を令和2年度は県道下恵良九重線など97箇所で実施しました。
- ・災害時の通行止めにより、集落の孤立が発生する可能性のある道路について、道路のり面对策を推進します。令和2年度は県道四浦日代線など7路線8箇所で実施しました。

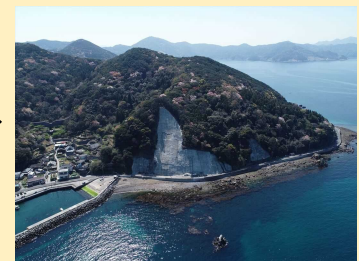
《路肩拡幅 実施事例》

県道 下恵良九重線 (玖珠町)



《道路のり面(落石)対策 実施事例》

県道 四浦日代線 (津久見市)



【目標指標】

指 標	基準値		R2年度			R6年度
	年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値
小規模集落から幹線道路へのアクセスを改善した集落数	H26	—	90集落	79集落	87.8%	150集落

【指標による評価】

評価	理 由 等
達成不十分	事業対象区間の延伸や法面の調査・対策工の増などにより完成年度が延長したため、達成不十分となったが、百枝大野線(西泉工区)等の開通により、幹線道路へのアクセスの改善を図った。

3 海上輸送拠点の強化

●港湾機能の強化

○臼杵港

八幡浜へのフェリーが1日14便の過密ダイヤで運航しており、港内では大小様々な船舶が航行しています。

安全な航行の確保並びに港湾機能の強化を図るため、新たなフェリーターミナルの整備を推進しています。

○臼野港

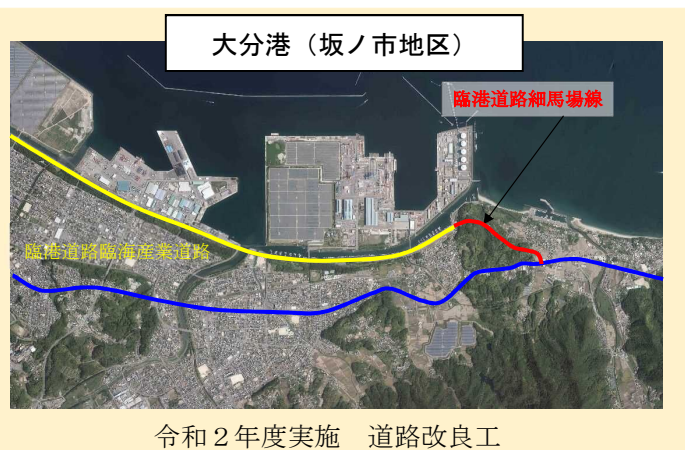
河川等からの流入土砂による航路・泊地が慢性的に埋塞しています。

砂・砂利運搬船出入港及び漁船の出漁時間帯の制限を解消し、効率性・安全性向上を図るため、防砂堤整備を推進しています。



●交通アクセスの向上

物流の効率化とともに渋滞緩和、安全性の向上等を図るため、臨港道路の整備を推進しています。



【目標指標】

指 標	基準値		R2年度			R6年度
	年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値
新規バースの整備延長 ※専用岸壁除く	H26	—	130m	130m	100.0%	270m
県内港湾の公共埠頭取扱貨物量	H26	—	42,600千ft	38,307千ft	89.9%	45,000千ft

【指標による評価】

評価	理 由 等
達成	計画的な予算・工程管理を行い、目標を達成した。引き続き、新規バースの整備を推進していく。
達成不十分	新型コロナウイルス感染症の影響により、移動が制限され、フェリーの利用が減少したため、達成率が89.9%となった。